

2019年1月ドミニカ共和国内政、外交、経済定期報告

2019年2月14日

在ドミニカ共和国日本大使館

1 内政

(1) 10日付ディアリオ・リブレ紙は、来る10月6日の予備選においてPLD, PRM, PRD, Alianza Pais, Opcion Democraticaの5党の計3万3819名の候補者が2020年選挙に向けた党内候補者の決定を行うと報道。

(2) 23日、メディーナ大統領は大統領府にて国家競争率強化審議会を開催し、本年のスローガンであるイノベーション及び競争率強化につき懇談。

(3) 23日、ガルシア観光大臣は、ペデルナレス県のバイーア・デ・ラス・アギラス・ビーチ開発のマスタープランの入札を行うと発表。

2 外交

(1) 対ベネズエラ

ア 10日、ベネズエラ・マドゥーロ第二次政権の正当性を認めないとするOAS決議をドミニカ（共）が支持。

イ 16日、バルガス外相が、ベネズエラ情勢につき、ドミニカ（共）は対話以外の解決を支持しないと述べた。

ウ 24日、OAS緊急常設理事会において、ドミニカ（共）はグアイド・ベネズエラ国会議長を暫定大統領と認める15ヶ国の立場を支持。但し、対話によってのみ和解が達成されるとの立場も示した。

エ 26日、バルガス外相はポンペオ米務長官とベネズエラ情勢等につき会談。

(2) 国連安保理関係

ア 11日、バルガス外相が、NYにて国連安保理議長国就任に係るグテーレス国連事務総長主催の昼食会へ出席。

イ バルガス外相は、23日ー26日の国連安保理会合に出席し、コロンビア和平、中東及び北アフリカの女性・平和・安全保障問題、気候変動、ベネズエラ情勢等につき協議した。

(3) その他

ア 7日、バルガス外相は、当国外務省にてアウグスト・アンゴラ外相と懇談し、アンゴラとの石油及び天然ガスに係る合意締結の可能性につき協議。

イ 16日、バルガス外相が、当国外務省にて、ドミニカ（共）が2019年のFEALAC地域調整国に選出されたと発表。

ウ 29日、当地中国大使館は、ドミニカ（共）の911緊急システムに対する支援として消防車40台及びコンテナ4基分の機材を無償供与。

エ 29日、サンチェス西首相がドミニカ（共）を公式訪問しメディーナ大統領と二国間協力に関する議事録及び貿易・投資関係に係る覚書に署名。

3 経済

(1) 6日、当地建設企業Sinercon社は、China Construction America社とインフラ及び不動産計画の合意に署名。

(2) 10日及び11日付当地主要各紙は、米国政府がドミニカ（共）をDR-CAFTAから排除する可能性を模索している旨の9日付エル・ヌエボ・ヘラルド紙の記事を掲載。上記報道につき、バルガス外相は、米国から通報は受けていないと述べた。

(3) 16日付当地主要各紙は、CEPAL（国連ラ米カリブ経済委員会）の報告書をもとに、2002年以降減少傾向をたどってきた当国のジニ係数が近年上昇傾向にあり格差が拡大していると報道。2014年には0.449であったジニ係数は2017年には0.463を記録。

(4) 18日、ドミニカ鉱業コーポレーション（中国深セン市に本社を構えるZhongjin Lingnan社が実質的に操業）が当国中部に銅及び亜鉛の新採掘場を竣工した。同中国企業による鉱業への投資は当国での中国の投資における最大規模のもの。

4 二国間関係

バルカセル青年大臣は、14日－20日、日本を公式訪問。18日付青年省プレスリリース及び18－19日付当地主要各紙が、バルカセル青年大臣の今次訪日につき報道。

(別添1) 経済指標

(了)